

令和2年度 鹿部中学校経営方針

| | |
|-------------------|---|
| 1 教育 目 標 | <p>豊かな心を持ち 進んで考え たくましく実践できる生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none">◎ 自ら深く考え 進んで学ぶ生徒の育成◎ 自他を敬愛し 感謝の心をもった生徒の育成◎ 強い意志を持ち 集団に寄与する生徒の育成◎ 生命を尊重し 心身を鍛える生徒の育成 <p>平成5年4月1日改定</p> |
| | <p>★重点教育目標★</p> <p>「自らを律し 自分を高める 生徒の育成」</p> |

| |
|---|
| <p>■めざす学校の姿■</p> <p>(経営ビジョン)</p> <p>「研修・研究に励む学校」</p> <p>(学校スローガン)</p> <p>「やってみよう！ ～失敗を恐れずに～」</p> |
| <p>■めざす教師の姿■</p> <p>「全教育活動を通じて生徒の心を揺さぶり、生きる力を育む情熱あふれる教師」</p> <ul style="list-style-type: none">○自己研鑽に励み、授業力と専門性を高める教師○生徒の良さを認め、生徒一人一人の自己実現に寄り添う教師○人生の先輩として、生きることの喜びや厳しさを伝える教師 |
| <p>■めざす生徒の姿■</p> <ul style="list-style-type: none">◎ 良く考え 進んで学ぶ生徒になろう◎ 人を大切にし 感謝の心を持つ生徒になろう◎ ねばり強く 進んで集団を高める生徒になろう◎ 生命を大切にし 心身ともにたくましい生徒になろう <p>平成5年4月1日改定</p> |

| | |
|----------------------------|--|
| 2 経 営 の 重 点 | <p>(1)「社会に開かれた教育課程」の編成とカリキュラム・マネジメントの実施</p> <ul style="list-style-type: none">① 「キャリア教育」と「防災教育」を中心とした総合的な学習を計画します。② 総合的な学習をはじめ、教育活動全般に「地域素材」を活用します。③ 教育カテゴリーごとにPDCAサイクルを実施します。 |
| | <p>(2)「主体的・対話的で深い学び」の授業研究</p> <ul style="list-style-type: none">① AL型の授業を行います。② 一斉授業、ドリル学習等を効果的に取り入れ、単元計画を工夫します。 |

- ③ 全教員（含管理職・養護教諭）による「教科 道徳」の授業を行います

(3) 個に応じた指導の徹底～一人ひとりに力をつける「鍛える授業」づくり～

- ① ユニバーサルデザインを取り入れた授業を研究します。
- ② 教科ごとに、生徒一人一人の力に応じた処方箋を描きます。
- ③ 「AL型授業」と「鍛える授業」のメリハリをつけます。

(4) プロ教師集団としての研究・研修活動の充実～メンター研修の確立

- ① OJTを生かした「メンター研修」システムを確立し、若手教員を育てます。
- ② 学校研究が教育活動の核となるように校内研修を活性化させます。
- ③ 管理職による研修（危機管理が中心）を行います（水曜日のコマの活用）
- ④ 全教職員が外部研修・研究大会に参加します。

(5) 特別支援教育の充実 ～ 組織的な教育活動の推進 ～

- ① 保護者と共に、個別の支援計画「いずみファイル」を作成します。
- ② 全教職員による組織的な特別支援教育を行います。
- ③ ニーズが高まる特別支援教育の研修を深めます。

(6) 「主体性を育む」教育活動 ～授業・学校行事・生徒活動・学級活動・部活動

- ① 「開発的な生徒指導」の考え方を取り入れ、次のことを意識します。
『生徒の言動を決定づけたり制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても生徒が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導』を積み重ねます。
- ② 生徒の怠慢な姿勢は指導します。失敗は責めません。トライ・チャレンジは称賛します。
- ③ 知恵を授け、お膳立てを極力、控えます。「自主性」を重んじると称しての「放任」はお互いに厳しく戒めます。

(7) ICT機器の活用と研修

- ① 「GIGA スクール構想」に応じた校内環境整備に努めます
- ② ICT機器の研修を深め、実践研究を進めます。
- ③ 一人一台の端末タブレットを活用したポートフォリオ評価を研究します。

(8) 効率的な運用で大きな成果を生む業務推進の工夫 ～働き方改革の継続～

- ① 時間（勤退・休憩・45時間時間外勤務等）を意識した労働に努めます。
- ② 業務の効率化を図ります。
- ③ 器（物理的条件）に応じた教育活動を工夫します。

(9) 地域に根ざし、地域コミュニティの核となる学校の創造

- ① CS（コミュニティスクール）と連携し、地域社会との融合を図ります。
- ② ホームページを開設し、安心メールとともに情報発信に努めます。
- ③ 小さな町の文化活動の拠点への期待に応えます。

| | |
|--|---|
| | <p>(10) その他</p> <p>① 危機管理～状況対応力を養う予告なし避難訓練、不審者対応訓練等を行います。</p> <p>② コンプライアンスの徹底～公務員としての倫理等について研修します。</p> |
|--|---|

| | |
|---------------------------|---|
| 3 特色 ある 教育 活動 | <p>(1) 「防災教育」「キャリア教育」を核とした総合的な学習と教育課程</p> <p>(2) 全校縦割りグループによる生徒主体の学校行事（体育祭・海嶺祭・球技大会）</p> <p>(3) 幼小中連携による実践交流</p> <p>① 幼小中合同によるクリーン作成</p> <p>② 乗り入れ授業（※ 本年度は、小学校の英語授業に週6時間程度、T・T補助）</p> <p>③ 小学校学芸会での合唱披露</p> <p>④ 家庭学習強調週間</p> <p>(4) 個に応じた学習指導 ～ICT機器の活用、T・T指導、習熟度別学習等）</p> <p>(5) ひまわり支援システムによる特別支援教育（個別の支援計画いずみファイル）</p> <p>(6) 生徒会による挨拶運動・ボランティア活動・全校集会等</p> <p>(7) 学習支援ボランティアを活用した長期休業中のサポート学習</p> |
|---------------------------|---|

| | |
|-----------------------|--|
| 4 三 者 連 携 | <p><学校・保護者・地域が一体となった教育活動の推進＝地域の教育力による支援></p> <p>(1) 保護者の協力</p> <p>①体育祭会場設営 ②海嶺祭野外パーティ ③ノーカーディ（毎週金曜日）</p> <p>(2) 地域の支援</p> <p>①体育文化後援会 ②海嶺祭おやじの会（鹿部ライオンズクラブ）</p> <p>③学校歯科医による歯磨き指導 ④性に関する学習（赤ちゃんふれあい学習）</p> <p>⑤幼児ふれあい学習（幼稚園） ⑥植樹による森林学習（渡島総合振興局）</p> <p>⑦薬物乱用防止教室（森署）</p> <p>⑧渡島リハビリテーションセンターでの入所者の方々との交流</p> <p>(3) 地域環境の活用</p> <p>①ふるさと学習 ②防災教育（駒ヶ岳噴火に備えて）</p> |
|-----------------------|--|

| | |
|----------|---|
| 5 その他 | <p>(1) GIGAスクール構想の前倒しによるICT教育の充実</p> <p>(2) ホームページ・安心メールによる情報発信</p> |
|----------|---|

